

日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集・発行人 島田 泰助

林活地方議連 第一回役員会開催 令和4年度定時総会提出議案を審議

協会からの

情報提供は

- 一般向け情報誌
『森林と林業』
(毎月25日発行)
- 会員向け情報誌
『協会報日本林業』
(毎月5日発行)

いずれも土日祭日は繰り
下げ発行となります。



目次:

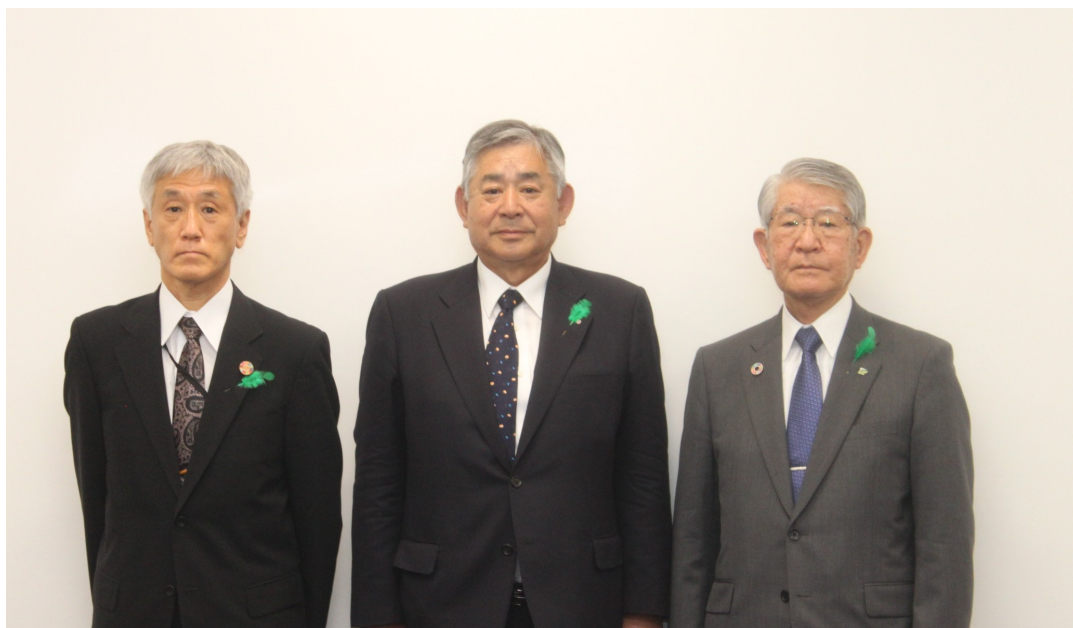
林活地方議連 第1回役員会	1
全木連新会長に 菅野康則氏 記者会見	2
事務所移転 お知らせ & 行事日程	3

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議（略称：林活地方議連、会長：杉本直樹）は6月1日に三會堂ビルにおいて令和4年度第1回役員会を開催し、7月28日に開催予定している令和4年度通常総会に向けての審議をおこなった。

杉本会長は「輸入木材の供給不足に端を発して、国内では木材価格の高騰などウッドショックと称される状況が継続する中で、今回のウクライナ危機により国内ではより一層の市場情勢の変化が懸念されています。外材から国産材への転換を進めるべく供給体制を整備することが必要な一方で2050年のカーボンニュートラルを踏まえた体制の整備も必要で、国民の財産や生命を守る国土強靱化に向けた森林づくりも必要となってきた」として森林に求められる事項はより一段と高まっていることを指摘し、当会活動の重要性を指摘した。

また、来賓として出席した島田泰助日本林業協会会長は「今年もこれから令和5年度予算等に向けた本格的な動きが始まります。林活議連に置かれましても今役員会において政府政策に関する提言案をご審議いただくことになってはいますが、森林環境税の活用等に関しても多くの課題をかかえており、十分な審議をお願いしたいと思っています。ウッドショックで製品価格は上がったが山側にはそれがほとんど届いていない。伐採後の造林放棄地が増えている。日本では今後、持続可能性が担保されていない木材は使用しないと厳しい姿勢で取り組んでいくことが必要で、林業団体は本日、このような共同宣言を発信します」と近況を報告した。

全木連新会長に菅野康則氏（広島県木連会長）が就任 全木連・全木協連 役員が揃って記者会見



記者会見を行った菅野康則全木連会長(写真中央)と松原正和全木協連会長(写真右)、
本郷浩二全木連・全木協連副会長(写真左)

全国木材組合連合会は定時総会で役員交代があったことから、翌日の5月20日に東京・虎ノ門のAP虎ノ門で記者会見を開いた。前日の通常総会で第13代会長に就任した菅野康則氏は、広島県の菅野製材株式会社(現(株)スガノ)の会長を務めるほか、広島県木材組合連合会の会長を務めており、年齢は71歳。

菅野新会長は 就任にあたり、「3年まえからのコロナウィルスの感染拡大、そのあとのウッドショック、そして今年にはロシアのウクライナへの侵攻と、世界の情勢はめまぐるしく変化しています。このような時期に会長という重責を担うことになり身の縮む思いがしているところですが、皆様から様々なご意見を伺いながら精一杯の努力をして進んでいきたいと思っております。」とまずはその心境を表明したあと、「当面の課題は、大きく2つに分かれるとおもいます。まず短期的課題としてはウッドショックで図らずも表面化したといえる需給のバランスの問題を解決することで、もう一つは長期的な課題としてローグレード材であるバイオマスエネルギーとしての需要が格段に高まってきており、供給体制としてこれらの急速な伸びにどのように対応を図っていくかということだと考えます。」と今後取り組むべき課題を明らかにした。

なお、短期的な需給バランスの実現について、菅野新会長は「今回のウッドショックで明らかになったことは、木材業界が在庫を持っていなかったということだ。木材業界は本来需給変動に対応すべき在庫を自分で持つて事業を行ってきた。ところが今回いざ局面を迎えたとき、手元に在庫を全く持っていなかったということがはつきりした。手当に走らざるを得なかった。需給変動を緩衝できる在庫を有しておくことをしてこなかったことを強く反省しています。在庫のリスクを自ら負担していく気構えを持つような業界に変化していかなければならないのではないかと考えています」と私見を披露していました。

(一社) 日本林業協会 事務所移転 お知らせ

一般社団法人日本林業協会は、三会堂ビル建て替えにともない、5月30日(月曜日)より事務所を文京区後楽の林友ビルに移転した。最寄り駅は後樂園(東京メトロ丸の内線、約200m)か飯田橋(JR線、東京メトロ有楽町線、南北線、東西線および都営大江戸線、約400m)となる。

新住所： 〒112-0004
東京都文京区後楽1丁目7番12号 林友ビル 3階
新TEL： 03 (6801) 8931
新FAX： 03 (6801) 8932
業務開始日： 令和4年 5月30日(月曜日)



新事務所は林友ビル3階のエレベーターホール正面に位置し、事務室と会長室にわかれています。

令和4年5月 国会の動き

《国会関連》

- 13日(金) 参・本会議(地球温暖化対策法案、趣説・質疑)
- 16日(月) 参・決算委(令和2年度決算他2件)
- 17日(火) 参・本会議(こども家庭庁関連2法案、趣説・質疑(総理出席))
- 18日(水) 衆・農水委(輸出促進法案、質疑)
- 19日(木) 衆・農水委(農業経営基盤強化法案、野さん漁村活性化法案 質疑)
- 20日(金) 参・本会議(刑法関連2法案 趣説・質疑)
- 25日(水) 衆・本会議、参・本会議(代表質問)
- 26日(木) 衆・予算委(令和4年度補正予算案 基本的質疑)
- 27日(金) 衆・予算委(補正予算、基本的質疑)
- 30日(月) 参・予算委(補正予算、総括質疑)
- 31日(火) 参・本会議(補正予算、総括質疑、議了)

《政党関係》

- 12日(木) 自・政調/林政対策委(最近の需給動向、グリーン成長の実現に向けた森林・林業・木材産業施策の推進について(案))

令和4年5月 業界の動き

- 2日(月) 第15回世界林業会議 韓国ソウル国際会議場、(テーマは「森林と共にグリーンで健康的で強靱な未来を築く」、3日、4日は林野庁がサイドイベント開催)
- 7日(土) 第31回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典(佳子親王殿下ご臨席、イイノホール)
- 13日(金) 『森林×脱炭素チャレンジ2022』受賞者発表
- 15日(日) みどりとふれあうフェスティバル(都立木場公園、14日は雨天中止)
- 20日(金) 山地災害防止キャンペーン開始(キャンペーン期間は6月20日まで)
- 21日(土) 第4回日本伐木チャンピオンシップ2022(青森県青森市雲谷梨野木のモヤヒルズで開催)
- 31日(火) 林野庁令和3年度森林・林業白書を公表